



新しい外科学の価値の創造

- 日 時：平成27年11月25日（水）17:30～
- 場 所：医学教育図書棟3階 第2講義室
- 講 師：澤 芳樹 先生 [大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学・教授]
 - Date: November 25th (WED) from 5:30 p.m.
 - Place: Lecture room 2, Medical Education & Library Building 3F.
 - Lecturer: Prof. Yoshiki SAWA

[Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine]

外科学において、先進医療の取り組みとして、内視鏡手術やロボット手術、ハイブリッド手術等の術式の多様化低侵襲化が進んでおります。一方、分子標的治療に代表される新規治療と連携・融合する革新的技術の進歩が期待されており、「新しい外科学の価値」として、今まさに芽吹いている新しい科学、テクノロジーから、将来その価値が創造されていくことが考えられます。

その一つが、再生医療であり、iPS細胞の登場によって、外科手技との集学的治療が今後さらに活発化することが予想されます。我々は、再生医療として自己骨格筋芽細胞シート移植を開発し、**First in man** の臨床試験以後 30 例以上の重症心不全患者への移植に成功し、薬事承認が得られるに至っております。一方、iPS細胞由来拍動心筋細胞を用いた心筋再生治療の開発も7年を経過し近い将来その臨床応用が始まろうとしています。

このような新しい医療を展開しイノベーションに結びつけるために、大阪大学では、14年前から附属病院に未来医療センターを、3年前からは未来医療開発部として新たな展開を進めており、また本年には医療法上の臨床研究中核病院に認定されました。このようなトランスレーショナルリサーチの促進を通じて、先端医療の本質的な価値とその推進ための隘路の凌駕によって、外科学の新しい価値が創造できるものと思っております。

- 担当：病態生化学分野 山縣 和也 教授 /Prof. YAMAGATA, Department of Medical Biochemistry
- レポート提出先/Essay（山縣教授宛/To Prof. YAMAGATA）：k-yamaga@kumamoto-u.ac.jp
- レポート提出先/Essay(CC:医学教務/Student Affairs Sec)：iyg-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp